



◎土木地方債許可概要

許可月日	起債額	起債目的	道府縣	起債團體名
十月七日	四 四〇〇,〇〇〇	道路改修及橋梁架替費	大分縣	長崎縣 大野村
〃	六,〇〇〇	道路改修費	鳥根縣	匹見下村
十月八日	二,〇〇〇	橋梁架設費	新潟縣	高田村
〃	一五,〇〇〇	道路改修費	同	同
十月十日	五,〇〇〇	國道改良費分擔金	同	同
十月十六日	五五,八〇〇	道路改良費、河川改良費、砂防費國庫納付金	岐阜縣	岐阜縣
〃	一五,〇〇〇	道路鋪裝費	愛知縣	同
十月十八日	一〇三,〇〇〇	道路橋梁改良費	富山縣	同
十月廿一日	一五〇,〇〇〇	道路改修費	石川縣	金澤市
〃	一〇,〇〇〇	林道開設費	岡山縣	香々美北村
十月二十四日	三〇〇	農村應急土木事業費	山梨縣	菱山村
〃	七〇〇	同	同	大藤村

〃	二〇〇	同	同	中芦川村
〃	三〇〇	同	同	鷺宿村
〃	一三,〇〇〇	同	鳥根縣	同
〃	七〇,〇〇〇	同	松江大橋改架費	同
〃	五五,〇〇〇	同	同	同
〃	八〇〇	農村應急土木事業費	山梨縣	花鳥村
〃	五〇〇	同	秋田縣	黒川村
〃	二,〇〇〇	林道開設費	岡山縣	大野村
〃	二,〇〇〇	同	岡山縣	中谷村
〃	六〇〇	農村應急土木事業費	秋田縣	上川大内村
〃	三〇,〇〇〇	國縣道改良費	三重縣	同
〃	三〇〇	農村應急土木事業費	山梨縣	綿塚村
〃	三〇〇	同	同	篠尾村
〃	六〇〇	同	同	英村
〃	二〇〇	同	同	上芦川村
〃	二〇〇	同	同	山村
〃	三〇〇	同	同	日川村
〃	一五〇	同	同	八幡村
〃	七〇〇	同	同	小立村
〃	二,〇〇〇	凶作應急農業土木費	秋田縣	山城堰普通
〃	五,〇〇〇	同	同	水利組合
〃	八,二〇〇	同	同	西目村
〃	八,二〇〇	同	同	山城堰普通水利組合

〃	六、〇〇〇	國道改良費負擔金	岐阜縣
〃	五〇〇	農村應急土木事業費	山梨縣 中牧村
十月二十八日	四、〇〇〇	同	青森縣 六戸村
〃	九、〇〇〇	村道改築費	岐阜縣 前宮村
十月二十九日	六、〇〇〇	道路改修費負擔金	兵庫縣 飾磨町
〃	三、〇〇〇	凶作應急農業土木事業費	秋田縣 上井河村
十月三十日	三、八、〇〇〇	災害土木應急費	群馬縣
十一月四日	六、〇〇〇	都市計畫街路事業費	愛知縣 名古屋市

寄贈圖書

○都市計畫道路工學及國立公園

藤田宗光氏著
都市研究會刊行

著者藤田宗光氏は宮崎縣都市計畫技師として其の職に在つて都市計畫の理論的方面に造詣あり以實際的經驗に富める篤學の技術者である。夫れは本誌に投稿せられたる文献で明かである。唇齒輔車の關係にあつて、經濟、社會、勞働、食糧等の諸問題に於て兩者は緊密なる關係を有する而かも人口集中、保健、教化等の點に於て深甚なる注意を

怠つてはならない帝國の現状勢に直面して都市を識り農村を識り、之等の開拓地に對する未開地を識るべく、各部分個々の研究を爲して其綜合的關聯を圖らんと志し著述されたるものが標記の「都市計畫道路工學及國立公園」である。就いて見るに第一篇都市論では歐米都市の改造を述べて我國都市の發達沿革、都市の悩みとなつて居る諸原因、都市集中論、地方計畫論、都市の方式を論じ第二篇交通の合理化では交通機關の特色、交通量、立體交叉、交通整理を述べ第三篇では都心と廣場を論じ第四篇道路工學では計畫の要綱設計、道路の性能、道路の鋪裝、街路樹、道路照明、橋梁、都市美を述べ第五篇で上下水道、飛行場、水運、防潮第六篇で區畫整理第七篇で都市の内容第八篇で綠地第九篇で都市計畫事業を論述し第十篇で國立公園に言及しておる。一瞥するに都市に精密にして農村の記述殆んど見るべき所なきの感あるは頗る物足らぬにあらねども忠實に該博に意を述べ筆を運ばせる所に於て都市計畫國立公園に關心をもつ人士のみならず汎く地方行政に注意を怠らざる學者實務家操觚者も精讀せざるべからざる好參考資料であると信ずる。(水川生)